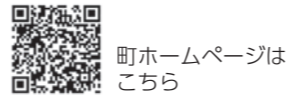


## 交通安全への願いを込めて 内閣府特命担当大臣賞に輝く



町ホームページは  
こちら

JA共済 全国小・中学生交通安全ポスターコンクールで、川瀬<sup>かわせ</sup> 紬子<sup>あやこ</sup>さんと古賀<sup>こが</sup> 夕渚<sup>ゆうな</sup>さんが県知事賞を受賞し、県代表として全国審査に進みました。このコンクールは、全国から小学生55,705点、中学生17,776点の応募がありました。全国審査では小学生238点、中学生114点の中から選ばれ、見事、内閣府特命担当大臣賞を受賞しました。また、3月26日と4月6日に、受賞報告のために二殿教育長を表敬訪問し、作品に込めた願いや、交通安全で心がけていることを話しました。今回の受賞は、交通安全への思いが高く評価されたものであり、町にとっても大きな誇りとなりました。

菊陽北小学校 1年(当時) 川瀬 紬子さん  
審査員講評  
受賞作品名  
『みぎひだりみてわたろう』

女の子の「目」でメッセージが伝わっていて、素晴らしいです。靴が、左右で赤色と青色になっているところは、まるで信号を表しているようです。



### 感想

「とてもすごいしょうをもらったよ！」と、パパとママにいわれたとき、さいしょはなにがおきたのかよくわからなかったけど、たくさんの人に、「おめでとう！」といわれてとてもうれしかったです。



左から 二殿教育長、川瀬さん親子、  
鹿島教諭、清永教頭

このポスターは、おうだんほどうをあんぜんにわたっているところをかきました。いろいろな人に見てもらえるように、えがおのかおを大きくかきました。えのぐをまぜて、おもったとおりのいろをつくるのはむずかしかったけど、たのしかったです。

これからも、みんながえがおになれるように、こうつうルールをまもりまします。

武蔵ヶ丘中学校 2年(当時) 古賀 夕渚さん  
審査員講評  
受賞作品名  
『スマホは一瞬 後悔は一生』

一枚の絵から、いつどんな状況の瞬間を描いたのかがよくわかります。少女の表情やスマホの光の描き方、空の色など、一つ一つ緊張感があります。

### 感想

今回、このような素晴らしい賞を受賞できて本当に嬉しく思います。このポスターは、運転中ながらスマホによって、横断する少女とぶつかりそうになる一瞬を描いています。一目見て危険性が伝わる、メッセージ性の強い作品にしたいと考え、標語と絵の両方に力を入れました。さらに、絵の色味やコントラストも工夫しました。スマホの画面で光っている車内や、夕日による光や影などのオレンジの色味などを頑張って表現しました。



左から 鋤崎教頭、山本教諭、  
古賀さん、二殿教育長



## にぎわいの創出に向けて

### 林総務大臣がくまモンアーバンスポーツパークを視察されました

3月21日、林<sup>はやし</sup> 正<sup>よしまさ</sup> 総務大臣が、くまモンアーバンスポーツパークを視察されました。当日は、町長・副町長から本町のまちづくりの取り組みについて説明を行い、その後、施設内を案内しました。

アーバンスポーツを核とした地域活性化や交流人口の拡大に向けた取り組みに対し、理解を深めていただく貴重な機会となりました。

今後も本施設を拠点に、にぎわいの創出と持続可能なまちづくりを推進してまいります。



林総務大臣が視察する様子

## 知の集積の取り組みが始まっています

### スポーツ観戦が健康に与える影響を九州大学が調査

九州大学都市研究センターが「スポーツ観戦が腸内細菌叢やメンタルヘルスに与える影響の研究」に関する結果を取りまとめ、報告会を開催しました。

この研究は、令和6年7月に締結した「スポーツによるウェルビーイングなまちづくりに関する包括連携協定」の一環として実施したもので、町内108人を含む、全国約1万人にウェルビーイング(幸福度)に関するアンケートを実施したほか、九州地区高等学校野球熊本大会を観戦し、観戦の前後で腸内細菌の変化の有無を比較する研究を行いました。スポーツ観戦により、腸粘膜の修復や炎症抑制に寄与する腸内細菌の有意な増加を確認し、スポーツを「する」だけでなく「みる」ことで健康に良い影響を与えることが世界で初めて示されました。

来年度も同センターと連携し、「知の集積」や「スポーツによる賑わいの創出」の取り組みを進めます。



左から、九州大学都市研究センター 馬奈木センター長、  
吉本町長、三井不動産 須永産業ソリューション開発部長

## 新チーム始動

### 火の国サラマンダースがシーズン開幕を報告

3月5日、町と「スポーツの力」で「地域の活力」を創造する連携協定を締結している火の国サラマンダースの野島<sup>のじまけ</sup> 雄<sup>ひろ</sup> 大代表取締役社長、今シーズンより新たに就任した西村<sup>にしむらけん</sup> 憲<sup>けん</sup> ヘッドコーチ、キャプテンの中庭<sup>なかにわえいしろう</sup> 永勝選手、球団マスコットキャラクターのさら丸が2026シーズンの開幕報告のため、来庁しました。

野島代表取締役社長は、「リーグ優勝し、今年こそグランドチャンピオンをとれるよう精一杯がんばります」と今シーズンの意気込みを強く語りました。



ユニフォームを手に、笑顔で記念写真

## 効果的な土地利用に向けて

### 第1回菊陽町立地適正化計画策定委員会を開催しました

令和7年3月に見直しを行った「菊陽町都市計画マスタープラン」に基づき、農業・工業・商業、そして住環境と自然環境がバランスの取れた効果的な土地利用の実現に向けた取り組みを進めています。この効果的な土地利用の実現には、将来の人口減少を見据えたコンパクトな都市づくりが必要不可欠であり、この取り組みを具体的に位置付けるため、現在、菊陽町立地適正化計画の策定を行っています。



第1回菊陽町立地適正化計画策定委員会の様子

立地適正化計画では、おおむね20年後の都市の姿を展望して策定する計画で、立地の適正化に関する基本的な方針に基づき、都市機能誘導区域<sup>※1</sup>や居住誘導区域<sup>※2</sup>の誘導区域を定め、この誘導区域に都市機能や居住を誘導するための必要な事業を記載することになっています。

3月16日には地域住民の代表や有識者などの委員で構成する第1回菊陽町立地適正化計画策定委員会を開催し、課題の抽出、基本的な方針の検討、誘導区域の検討に関して協議を行いました。

今後も、菊陽町立地適正化計画策定委員会の開催や、パブリックコメントなどを実施し、広く町民の皆さんの意見を反映させながら、計画策定を進めます。

- ※1 医療・福祉・商業などの都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域
- ※2 一定エリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスなどが持続的に確保されるよう、居住を誘導していく区域

## 町民の善行をたたえる

### 令和7年度菊陽町善行表彰表彰式を行いました

町では、自主的で積極的な意思により、長年にわたり社会的評価が高い行為で町民の模範となるべき善行を行っている個人または団体の功績を公式に讃え、町民に広く周知し、互いを思いやる精神を町全体に普及させるため、菊陽町善行表彰規則を制定しました。表彰規則制定後、今回が初めての表彰式の開催で、社会福祉の分野で活動している武蔵ヶ丘7町内ほほえみの会の皆さん、同じく社会福祉や幼児教育の分野で活動している布和里の皆さんを表彰しました。

武蔵ヶ丘7町内ほほえみの会の皆さんは、地域の高齢者に寄り添い、介護予防活動を中心に、ふれあいサロンや敬老会のお世話など、幅広く活動を続けてこられました。この活動は、高齢者の健康や、地域の安心とつながりを支える大きな力となり、介護予防活動などを行う他の団体の模範となるものです。

### 菊陽町善行表彰 表彰式



### 菊陽町善行表彰 表彰式



布和里の皆さんは、図書館での布絵本の製作活動を通じて、子どもたちの感性を育み、地域に創造性と優しさを広げてこられました。丁寧に縫い上げられた一冊一冊には、子どもたちへの深い愛情と、地域を思う温かな心が込められており、世代を超えて多くの人々に喜びを届けています。

## 鼻ぐりを守り続けていく

### 鼻ぐり井手を適切に保存・活用するための計画を策定しています

町教育委員会では、平成31年3月に県史跡に指定された「馬場楠井手の鼻ぐり」の適切な保存・活用の実施に向けた計画を策定中です。

馬場楠井手は現在も菊陽町・熊本市の農地に水を供給しているため、文化財として馬場楠井手の鼻ぐりを管理・活用する際は、営農を妨げないよう計画的に進める必要があります。

保存活用計画を策定する上では、文化財の専門家だけでなく、地域住民や営農関係者の協力のもと、馬場楠井手の鼻ぐり保存活用計画策定委員会を設置し、計画書の検討・策定を行っています。

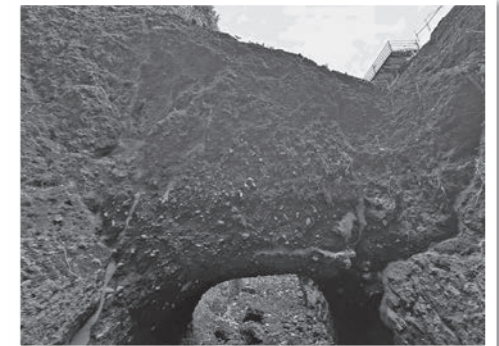
3月12日には第2回の策定委員会が開催され、馬場楠井手の鼻ぐりの現地視察も開催しました。現地視察では、鼻ぐりの模型や見学経路の確認だけでなく、井手底に降りて、水路や鼻ぐりの劣化状況の確認を行いました。前回の井手底の視察から10年弱が経過しており、劣化や部分崩落が確認されたため、今後、計画内で修繕や整備についても検討し、保存・活用を行っていきます。

#### 馬場楠井手の鼻ぐりとは？

約400年前に築造された馬場楠井手の曲手～辛川間に築かれています。井手の水流を遮るように、通水孔を備えた岩壁があることで、渦状の複雑な水流が発生し、この渦によって、井手の水に含まれる火山灰(ヨナ)や土砂が巻き上げられるため、鼻ぐり周辺では井手底に土砂などがほとんど堆積しません。この特殊な構造は、全国に類例がない大変珍しいものです。



井手底視察の様子



井手底から見た鼻ぐりの様子

※井手底への立ち入りは大変危険ですので、ご注意ください。

## 本町の魅力発信に努める

### 菊陽町PR大使に任命しました

3月12日、町を幅広くPRし地域を活性化するため、ロアッソ熊本のおおもとゆうき選手に町PR大使を任命しました。

任命式にて大本選手は、「菊陽町の魅力を伝えられるように頑張っていきます」と今後の意気込みを語りました。今後、大本選手には町の魅力を県内外の多くの皆さんに発信してもらい、本町の魅力発信や知名度向上などに尽力いただきます。



委嘱状を手にした吉本町長(左)と大本選手(右)

## 菊陽町下水道事業経営戦略の策定

### 菊陽町下水道事業運営審議会が答申書を提出しました

3月17日、菊陽町下水道事業運営審議会は今後の下水道事業の経営計画となる「菊陽町下水道事業経営戦略」の策定について、答申書を提出しました。

今後は策定した経営戦略に基づき、安定的で持続可能な下水道事業運営に努めてまいります。

経営戦略は、町ホームページに掲載しています。



詳しくはこちら



左から、井田貴志熊本県立大学教授、小牧副町長

## 全ての牛が高い評価を受けました 令和7年度春季育成牛管理品評会が開催されました

3月21日、県家畜市場で春季育成牛管理品評会が開催されました。町からは、褐毛・黒毛和種合わせて10頭が出品され、町から出品された全ての牛が、名誉賞と優秀賞を受賞し、高い評価を受けました。



吉本町長と出品された畜産農家の皆さん

## プロとともに汗を流す 第7回菊陽町スナッグゴルフ大会

3月29日、菊陽杉並木公園スポーツ広場でスポーツ推進委員協議会主催による第7回菊陽町スナッグゴルフ大会が開催されました。

当日は絶好のスナッグゴルフ日和となり、小学生～65歳以上の合わせて41人が参加しました。二殿教育長をはじめ、プロゴルファーの深堀昌之<sup>ひかほりまさゆき</sup>プロや木村幸広<sup>きむらゆきひろ</sup>プロも会場に駆けつけ、スナッグゴルフを通じて世代を超えた交流を深めました。



大会参加者で記念写真

☎ …申し込み・問い合わせ 費用が掲載されていないものは無料です。  
状況により中止または延期となる場合があります。

### 情報 掲示板

#### お知らせ

〔仮称〕都市高速鉄道阿蘇くまもと  
空港アクセス鉄道整備事業の環境  
影響評価準備書の説明会、環境影  
響評価準備書と都市計画案の縦覧

（仮称）都市高速鉄道阿蘇くまもと  
と空港アクセス鉄道整備事業の環  
境影響評価準備書を広く皆さんに  
お知らせし、意見を聞くため説明  
会を開催します。

また、環境影響評価準備書と都  
市計画案の縦覧を行います。意見  
がある場合は、意見書を提出する  
ことができます。

#### 〔環境影響評価準備書の説明会〕

※申し込み不要

日時 5月21日(木) 午後7時～

場所 中央公民館

※他町村でも別日程で説明会を開  
催予定です。



県ホームページは  
こちら

#### 〔環境影響評価準備書と 都市計画案の縦覧〕

縦覧期間

4月28日(火)～5月28日(木)

(土日祝を除く)

午前8時30分～午後5時15分

縦覧場所 町総合政策課

県土木部道路都市局都市計画課  
※準備書および都市計画案の法定  
図書は、縦覧期間中、ホーム  
ページで公表  
します。



詳しくは  
こちら

#### 意見書の提出方法

意見は所定の様式(様式は各閲覧  
場所にあります。自由様式での提  
出でも可)に記入し、郵送、FAX、  
電子メールまたは持参のいずれか  
の方法で提出してください。

#### 提出期間

4月28日(火)～6月11日(木)

#### 提出先 県都市計画課

#### 持参、郵送のあて先

〒862-18570

熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

(必着)

FAX 0996(387)1152

✉ toshikeikaku@pref.kumamoto.jp

☎ 県土木部道路都市局都市計画課

0996(333)2524

